

平成30年12月1日発行

かみすながわ

議会だより

平成30年 第3回定例会

第6号

発 行 上砂川町議会 編 集 議会活性化特別委員会
上砂川町議会事務局 電話 0125-62-2880

上砂川町郷土芸能獅子神楽奉納100周年を祝う会のようす



掲載内容

- | | |
|---------------------|----|
| * 主な議会政務報告について | 2P |
| * 一般質問と答弁内容（要旨）について | 3P |
| * 庁舎建設特別委員会報告について | 7P |
| * 町内事業への参加について | 8P |

主な議会政務報告について

月 日	会 議 行 事 名	場 所	出席者
9・12	議会運営委員会	役場	全委員・議長
14	上砂川町敬老会	町民センター	議長他 7名
19~21	第3回上砂川町議会定例会	役場	全議員
19	議会運営委員会	役場	全委員・議長
20	総務文教・厚生建設常任委員会	役場	全委員
21	第1回上砂川町議会庁舎建設特別委員会	役場	全委員・議長
26	1市3町「交通事故セーフティ運動」 交通安全大会	奈井江町	議長
28	秋の交通安全運動（旗の波）	町内	議長他 6名
10・5	中空知町議会議長連絡協議会 第2回定期総会	雨竜町	議長
18	「福井県鶴地区小学生交流事業」 児童報告会	中央小学校	議長他 4名
18~19	平成30年度空知町村議會議長会 第2回定期総会	札幌市	議長
24	決算特別委員会 全員協議会	役場	全委員 全議員
	第2回上砂川町議会庁舎建設特別委員会	役場	全委員・議長
27	上砂川町社会福祉大会	町民センター	議長
11・2	上砂川町表彰式	町民センター	議長・副議長
10	上砂川町郷土芸能獅子神楽 奉納100周年を祝う会	町民センター	議長
18~20	中空知町議会議長連絡協議会 道外政務調査	鹿児島県	議長
21	第62回町村議長全国大会	東京都	議長
26	砂川地区保健衛生組合議会第2回定期会	砂川市	伊藤議員
	砂川地区広域消防組合議会第2回定期会	砂川市	伊藤議員
30	中空知広域市町村圏組合議会 第2回定期会	滝川市	議長・副議長
	中・北空知廃棄物処理広域連合議会 第2回定期会	滝川市	議長
	石狩川流域下水道組合議会第2回定期会	滝川市	議長

平成30年第4回上砂川町議会定例会 を傍聴しませんか？

本会議は、簡単な手続きで自由に傍聴することができます。町議会の活動などを知るよい機会ですので、ぜひ傍聴にお越しください。

- 議会日程：12月12日（水）～14日（金）
- 傍聴可能日：12月12日（水）
12月14日（金）



小越・伊吉・数馬・高橋
澤前・藤川・成和
一充・等洋・尚和

議会広報誌の編集委員

一般質問

(質問者順)



議席番号8番
高橋 成和議員

質問要旨

子育て支援について

一点目、病児保育、病後児保育は、近隣自治体において病院内で保育士が対応しあなつてているところはあります。子どもたちの病状によって預かりの基準が複雑なことや受け入れ人数も制限があり、自治体間において提携を結ぶには困難な状況です。保護者からは町内の診療所内の一室を借りたり子どもを預ける場所ができればと要望があります。町独自で事業を実施するには環境整備にも相当な費用がかかりますし、広域で検討すべ

答弁要旨

一点目のご質問「病児保育、病後児保育」についてですが、病児・病後児保育とは、児童が病気やけがの時、就労などのため保護者が家庭で保育ができない場合に、保護者にかわり一時的に保育をし、子育てと就労の両立支援を目的として行う事業であり、近隣においては、砂川市、滝川市がこの事業を行っております。議員ご指摘のように、病児・病後児をお預かりすることは専用の施設やスペース、対応する看護師等の専門職の配置のほか、施設の環境整備を図る必要があります。しかし、その一方、「上砂川町まち・

き大きな課題であり、中空知定住自立圏の会議体のなかで体制づくりや制度を考えていかなければならぬと感じております。町として現時点での保護者のサポート体制の取り組みや近隣自治体との「病児保育、病後児保育」の提携も含め今後の動向についてお伺いいたします。

二点目、児童館の充実について認定子ども園と児童館が併設することによりソフト面において様々なメリットがあると考えられます。これまでとは違う新たな特色や職員の配置も含め施設全体においての運営形態についてお伺いいたします。

ひと・しごと創生総合戦略」での策定委員会・部会の意見の中にもありますように、共働き世帯等が増加する中で、保護者の皆様からのニーズがあることも承知しておりますが、町単独での実施につきましては、大変難しい状況にあります。近隣自治体との連携につきましては、中空知定住自立圏構想の中では協議されおりませんが、現在、砂川市において砂川市立病院内で「病児・病後児保育」を実施しておりますので、子ども通園センターの広域連携とともに広域での利用について、手法や実施の可否についても検討しております。また、現時点において、手法同様に広域での利用について、手法や実施の可否についても検討しております。また、現時点において、手法保護者へのサポートの一助となるよう、来年4月開園の認定こども園において、一定のルールの下、投票に対応する予定となつておりますことを申し添えます。

二点目の児童館の充実につきましては、新しい児童館には、図書室・遊戯室・創作活動室を配置し、利用する児童が勉強や読書など思い思いの過ごし方ができるようになつており、特に遊戯室につきましては、従来の児童館には運動スペー

スを移動パーテーションで仕切ることで生まれる集会室の活用方法として、習い事等を実施することにつきまして検討しているところです。また、現在の児童館は、野外スペースが狭く野外で遊ぶことはできませんでしたが、新たな施設は野外スペースが広くとられることから、野外で元気に遊ぶことが可能となります。職員の配置につきましても、認定こども園と一体となることで職員の配置も充実することができます。今後においても、児童厚生員と協議をしながら、どのようなことが出来るのか児童のニーズに沿った事業等を都度検討していきたいと考えておりますことを申し上げ答弁といたします。



質問要旨



議席番号1番
小澤 一文議員

防災・減災対策について

9月6日未明に発生しました「北海道胆振東部地震」で、全戸停電を余儀なくされ、町民はこの対応に大変に苦労されたのではないでしょう。テレビ・ラジオ・電話が使用できず、自由に情報を得ることが出来ない町民は、広報車から情報を必要としていました。広報車の活動は、無用な混乱を防ぐ等、とても重要な役割を担っています。皆が大変な時ほど、可能な限り速やかに情報を伝えることがあります。また広報車は単に情報を伝えるだけではなく、町民に安心感を届けられる大きな効果があります。

はじめにこの度の地震災害においては、胆振管内をはじめ広範囲において甚大な被害をもたらし、尊い命が失われ、今もなお復旧のめどが立たずに入る地域の方々へ、謹んでお見舞い申し上げます。この度の震災においては、9月6日午前3時8分頃に地震が発生し、本町においては震度3を観測し、ほぼ同時に町内全域で停電が発生し、長時間にわたり不自由な生活を余儀なくされました。町においては、全町の被災状況の把握のため車両による巡回を行い、あわせて住民の避難は安全を第一に考え、暗いちは避け、日の出を待つて行動できるよう耐震施設の町民センター、中央ふれあいセンター、鶴本町生活館の3か所の避難所開設に向け準備を進め、午前7時に開設。広報車両により全町アナウンスで自主避難を呼びかけたところです。住民に安心を与え、必要な情報を正確に伝えることが第

ゆっくりと細かく回ることで多くの時間を要し、公務に支障があるとしたならば、広報車を増やす等の対応を要望しますが見解を求めます。町民の皆様には、是非我が家の防災対策は本当に大丈夫か、今一度、確かめていただきたいと思います。

答弁要旨

はじめにこの度の地震災害においては、胆振管内をはじめ広範囲において甚大な被害をもたらし、尊い命が失われ、今もなお復旧のめどが立たずに入る地域の方々へ、謹んでお見舞い申し上げます。この度の震災においては、9月6日午前3時8分頃に地震が発生し、本町においては震度3を観測し、ほぼ同時に町内全域で停電が発生し、長時間にわたり不自由な生活を余儀なくされました。町においては、全町の被災状況の把握のため車両による巡回を行い、あわせて住民の避難は安全を第一に考え、暗いちは避け、日の出を待つて行動できるよう耐震施設の町民センター、中央ふれあいセンター、鶴本町生活館の3か所の避難所開設に向け準備を進め、午前7時に開設。広報車両により全町アナウンスで自主避難を呼びかけたところです。住民に安心を与え、必要な情報を正確に伝えることが第

質問要旨

受動喫煙防止対策について

北海道は喫煙率が高く、特に肺がんを患う人が多いということです。いま国内での受動喫煙による死者数は年間約1万5千人に上ると推計されています。この数は、交通事故死亡者数の約4倍にあたります。今、私たちちは受動喫煙を防ぐと共に、受動喫煙の健康への影響を理解することが重要となっています。特に子供たちや妊婦の方を受動喫煙から守っていくことが強く求められています。本町の成人の喫煙率は高く、喫煙の減少率は国・道が示した目標値に達していません。喫煙率の減少を達成するためには、とりわけ本町の喫煙受動防止策が、大人も子供も、喫煙する人もしない人も、多くの町民が身近に感じられる環境にあることが必要です。いま私たちが出来る受動喫煙防止運動を考え、早期に取り組む

一の目的であり、この度においても住民に対し伝達すべき情報があれば、都度広報車でお知らせする態勢は整えていたものの長時間にわたる停電の影響により、関係機関から町に対して情報伝達がないことから広報にまで至らなかつたところであります。

答弁要旨

国民の健康増進を一層図るために、受動喫煙対策を更に強化していくことが必要であり、望まない受動喫煙の防止を図る観点から、このたび、健康増進法の一部が改正されたところであります。改正の趣旨につきましては、①「望まない受動喫煙」をなくすこと、②受動喫煙による健康影響が大きい子ども患者等に特に配慮をすること、③施設の種類・場所ごとに対策を実施するとの3点となっており、今後、施設の種類・場所に応じて、2020年東京オリンピック・パラリンピックまでに段階的に施行することとなつております。本町では、既に、法改正前から役場等の公共施設の建物内、学校においては敷地内を、全面禁煙とするなど、受動喫煙防止に努めております。北海道の喫煙率につきましては、平成30年の日本たばこ産業株式会社の調査では、男女とも全国1位となっています。本町は、住民の生活習慣から喫煙者が多い特徴がありますが、徐々に喫煙率は減少し、全道平均より低い状況になつ

ています。また、本町の妊婦、乳児のいる家庭での喫煙、受動喫煙の状況は、平成29年度の妊婦の喫煙者は無く、乳児のいる家庭での喫煙率は平成26年度は、9.2%でした。が、年々減少し、平成29年度は33.3%と約1/3まで、減少しております。子育て世代を中心に喫煙に対する意識の変化が見られます。が、希望まない受動喫煙を防止するためには、喫煙による影響についての情報提供や健康指導、環境整備を軸とした受動喫煙対策が必要なことから、本町としても改正の趣旨を踏まえて、順次出来ることから実施していくことを考えております。

質問要旨

がん教育について

文部科学省は、「がん教育」の基本的視点を「いのちの大切さを育む、がん教育」としています。がん教育の目標を①がんに関する正しく理解できるように、②いのちの大切さについて考える態度を育成する。としています。がんは日本人の2人に1人がかかる国民病であり、死亡原因の1位です。しかも、がんの死亡者数は増え続けており、またがんに対する理解が根本的に不足しているとも言われています。こうした観点からも、子どもたちが、早くから「がん教育」の基本的視点を学ぶことは、とても極めて有効ではないかと考えます。

「がん教育」を先進的に取り組んでいる自治体には、学校単独ではなく、外部講師を招いていわゆる「出前授業」を積極的に実施しているところも多くあるようです。外部講師との交流を通して、子どもたちが「いのちの大切さを考える」との教育的効果は大きいと期待されています。また、一方では学習指導要領の改定で、中学校の「がん教育」はかなり充実するとも伺っています。そこで、本町の「がん教育」実施の現状と今後の取り組みについてお尋ねをします。

答弁要旨

がん教育について

がん教育につきまして、文部科学省において、平成24年に政府の「第2期がん対策推進基本計画」等を踏まえ、平成27年3月に「がん教育の在り方に關する検討会」を開けたところであります。この中で、子供たちに対するがん教育の目標として、「健康と命の大切さについて主体的に考へることができるようになる」という授業が行えるよう教育委員会としても協力や情報提供を行い、場合によつてはPTAに対する啓発等も併せて考えていくことを申し上げ、答弁とさせていただきます。

町もいち早く、町民センター、あれあいセンター、鶴本町生活館の3カ所を避難所として設置をして町民に対し素早い対応を致しましたが、残念な事に開設時間が午後6時までと短く、電気のこない住民にとっては不安な一夜であり、もう少し時間を長くして頂けたらと思うところでもありました。

又、今後このような長期間の停電対応の為、避難所指定の施設においては、発電機、並びにLED照明、簡

もたちが、早くから「がん教育」の基本的視点を学ぶことは、とても極めて有効ではないかと考えます。

「がん教育」を先進的に取り組んでいる自治体には、学校単独ではなく、外部講師を招いていわゆる「出前授業」を積極的に実施しているところ多くあるようです。外部講師との交流を通して、子どもたちが「いのちの大切さを考える」との教育的効果は大きいと期待されています。また、一方では学習指導要領の改定で、中学校の「がん教育」はかなり充実するとも伺っています。そこで、本町の「がん教育」実施の現状と今後の取り組みについてお尋ねをします。

ばこの有害性について「喫煙防止教室」を隔年で実施しておりますが、主な原因として喫煙も挙げられています。いすれにいたしましても、がんを理解する上でも健康維持の観点からも子供のうちから教育していくことは重要と考えますので、新学習指導要領に基づいた「がんについて正しく理解することができるようになる」とともに「健康と命の大切さについて主体的に考へることができるようにする」という授業が行えるよう教育委員会としても協力や情報提供を行い、場合によつてはPTAに対する啓発等も併せて考えていくことを申し上げ、答弁とさせていただきます。

質問要旨

災害時の避難施設、及び防災関係の対応について

この度の胆振東部地震発生直後、全道全域が停電となり、一瞬にして生活基盤を揺るがす事態となりました。



議席番号4番
吉川 洋議員

易暖房等の常設等が必要と思ひます
が、今後の対応をどのようにお考え
かお尋ねいたします。

次に災害時等、住民へ適切に情報
を伝える手段として、一般的には防
災無線ですが、当町においてはその設
備もなく、今回は停電の為、なかなか
か情報が届かず不安な気持ちを持つ
た町民もおられた事と思います。

そこで、現在はコミュニティFMを活
用して防災無線の役割を担う方法も
あると聞いております。今後の災害
時の正確な情報伝達ツールとして、
まちの駅ふらつと等に局の設置を考
えて見る事も方法の一つと考えます。
町としてのご検討を強くお願ひ致し
まして質問といたします。

答弁要旨

この度の震災にあたつての避難
所の開設・運営につきましては、地
震発生当日の午前7時に町内3か
所に開設し、それぞれ職員2名を配
置し、自主避難者の受け入れに備え
たところです。

日の暮れる午後6時の時点にお
いて、中央ふれあいセンター、鶴本
町生活館は避難者がおらず、停電に
よる安全確保や夜間の避難行動は
極力避けるという災害対応の原則
を踏まえ、季節的な日照時間や暖房
の要不要、避難者の動向を見極めた

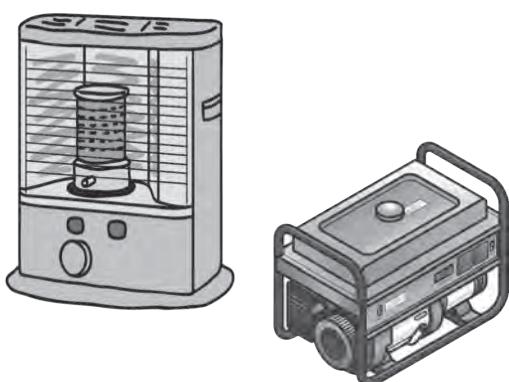
うえで2か所を閉鎖し、以降は電気
が復旧されている町民センター1
か所にまとめ、職員2名体制で6日
と7日の2日間対応にあたつたも
のであります。

次に避難所施設における発電機
等の設備でありますが、平成3年
の東日本の震災以降、備蓄品を年次
で整備してきており、飲料水、非常
食をはじめ、発電機は小型(8台)、
中型(4台)、行燈型の灯光器を5
台、電気を使用しない石油ストーブ
は7台をすでに整備し、日頃の管理
や動作点検のほか、災害時には必要
な避難所へ必要な台数を重点的に
配備する臨機応変な対応が求めら
れることから、役場で一元的に保管
管理しております。今後においても引き
続き必要な整備を図つてまいります。

次に防災無線に代わるコミュニティ
FMの活用でございますが、「ご
質問にありますように防災情報提
供のツールとして活用が期待され
ますが、開局は出資を伴う経営母体
が資金計画や経営の見通しを立て、
設備や無線従事者の有資格者を含
め、総務省に対し放送局開設の免許
申請と検査・認可を要するものであ
ります。放送番組の編集も別途設置
が必要な番組審議機関に諮問し、都
度答申を得ながら運営するという、都

一放送局としての高い公共性が求
められます。

コミュニティFMに与えられる
一般的な送信出力は20Wと小さく
制限されており、町内全域をカバー
するには本町では地形的な課題や
経費的、人的課題もあり、現段階で
は難しいものと考えますが、情報伝
達の重要性は十分認識しております。
面はこれまでどおり広報車で対応
いたしましたが、貴重なご提言とし
て検討してまいりますので、ご理解賜
りますようお願い申し上げ答弁と
いたします。



質問要旨

お達者クラブ(足若の日)の、
福祉バスふれあい号による
送迎サービス時の相乗りにつ
いて

現在、健康づくり施策の一環とし
てパンケの湯において「お達者クラブ
(足若の日)」が開催されています。

この参加者に向けて、福祉バスふれ
あい号にて送迎サービスが行われて
おりますが、この時、一緒に「診療所」
並びに「奥沢パークゴルフ場」を利用
する方に限り、バスと一緒に相乗り
する事は出来ないでしょうか。
特に「奥沢パークゴルフ場」について
は公共交通が無く、自家用車がない
とほぼ利用は不可能という事が現実
であります。



議席番号3番
伊藤 充章議員

地域公共交通会議において、その実現に向けての協議が進んでおり、またバスやタクシー事業者との兼ね合い、更には法令等、クリアしなければいけない課題が多くある事とは思うのですが、「診療所」や「奥沢パークゴルフ場」利用者の利便性が向上し、健康の維持・増進にも繋がると考えます。

この事につきまして、町としてのお考えをお伺い致します。

お達者クラブ（足若の日）につきましては、毎月第1、第3水曜日に開催され、参加者につきましては、29名の方が登録されており、1回当たりの平均で17名の方が参加し、転倒予防体操などを実行しております。また、送迎バスにつきましては、迎えの便は朝9時30分に鶴を出発し、帰りの便は12時30分に温泉を出発しており、参加者のほぼ全員が利用しております。

伊藤議員ご質問の送迎サービス時の相乗りにより診療所、パークゴルフ場への送迎についてであります。が、診療所につきましては、中央バス上砂川線のルートにあることから、ふれあい号での降車場所としてはバス路線と競合することから地域公共交通会議での合意を得ら

答弁要旨

この事につきまして、町としてのお考えをお伺い致します。

第1回の地域公共交通会議での運行計画案で降車場所につきまして、役場、温泉、診療所など8か所ほどの降車場所を考えておりますことから、今後の会議においてパークゴルフ場についても検討してまいりますことを申し上げ答弁といたします。



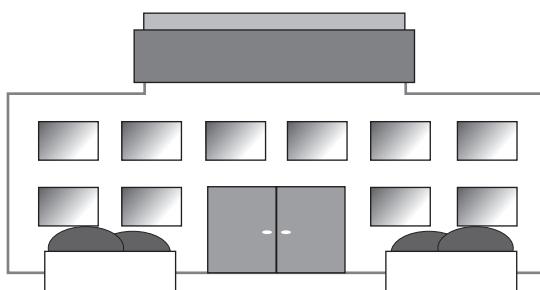
庁舎建設特別委員会報告

特別委員会開催日について

開催場所 議員控室

第1回 平成30年9月21日

第2回 平成30年10月24日



協議内容

全員協議会にて町より提案された平面プラン図をもとに下記の内容について協議しました。

- ① 建設場所・建築面積について
- ② 議会関係の部屋の配置について
- ③ 1階・2階フロアの配置について
- ④ その他屋外駐車場について

意見書の提出について

開催場所 町長室

平成30年10月30日、午前10時より奥山町長へ「役場庁舎平面プラン」に対する意見要望書を提出

出席者 高橋・数馬・議長

平成30年11月16日、午後1時より奥山町長より意見要望書に対しての回答
出席者 高橋・数馬・議長

町内事業への参加報告

秋の交通安全 旗の波運動

9月27日、ふれあいセンター前にて旗の波運動に参加しました。冬が間近となり日没が早くなる時期でありますので少しでも交通事故が抑止できればと願いをこめて参加させていただきました。



出席者(7名)

大内兆春・高橋成和・数馬 尚・
吉川 洋・伊藤充章・越前 等
小澤一文

上砂川町社会福祉大会

出席者(4名)

大内兆春・高橋成和・数馬 尚・
吉川 洋

上砂川町郷土芸能獅子神楽奉納 100周年を祝う会



10月27日の社会福祉大会では、今までの記念講演会と趣向を変えた各活動団体の代表によるフォーラムディスカッションがおこなわれました。小・中学生によるボランティア活動の発表も印象的でしたが、すべての世代の方に社会福祉活動への関心を深めることのできる有意義な大会となりました。

編集後記

秋から冬への季節の変わり目の時期に、この編集後記を書いています。

今年は、第5号でも触れておりましたが、大雨・台風・地震等による大きな被害が発生しております。この北海道でも9月には最大震度7という胆振東部地震があり、当町でも震度3を経験し、その後「ブラックアウト」と呼ばれる北海道全域での大停電により、3日間に亘る停電となってしまい、住民の生活が非常に不便、且つ大変な思いをしました。私もこの様な長い停電は、人生64年で初めての経験であります。

また、今年の気候は春から気温が上がらず、日照不足や災害等の為に農産物が大変な不作であり、その価格も高騰しております。当町でも住

11月4日、郷土芸能である獅子舞の奉納100周年を祝う会が開催されました。石炭産業とともに100年という歴史を築き上げてきたことはたいへん誇りに思いますし、少子化が進んでおりますが次の世代にできるかぎり引き継いでいていただきたいと思います。

この第6号が皆さん的手元に届く頃、遅い初雪から根雪となつていいと思いますが、今年も残すところ1ヶ月あまりとなり、もうすぐ正月の足音が聞こえる時期となつてまいります。来年は穏やかな日常生活を営む日々でありますよう祈っています。

議会だよりも第6号の発行となり、各々編集委員少しづつではありますが、試行錯誤しながらも作業自体上達していると思います。私も、住民の方々から「議会だよ、読んでいるよ」、「楽しみにしているよ」とのお声を頂きます。

私も、住民の方々にとつても、とても励みになります。作る作業自体は大変ですが、これからも住民と議会がもっと身近なものとなるよう目指して励んで参ります。

私も、少々ではありますが「ガングバルぞう！」そう思つております。

(平成30年1月16日
記 越前 等)